

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成17年度 内閣総理大臣賞 受賞	受賞者名	関東建設廃棄物協同組合 （現：建設廃棄物協同組合）
	所在地	東京都中央区京橋 2-6-6 藤木ビル 3 階
<p>1. 活動継続 あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2015 年（平成 27 年）組合創立 40 周年を迎え、記念誌を作成した。 		
		
<ul style="list-style-type: none"> ● 処理技術研究会を立ち上げ、廃棄物の中間処理工程で発生する「ふるい下残渣」の組成を分析し、そのリサイクル方法等について検討を行っている。（平成 29 年度廃棄物資源循環学会第 28 回研究発表会にて発表） ● 建設汚泥改良土の建設工事等での利用促進を図るべく、国、自治体、建設業団体と共同して取り組んでいる。具体的には定期的な協議、モデル事業の実施を通じ「品質管理基準」を策定し、安心できるリサイクル製品の供給体制を確立した。 		
<p>2. 活動の広がり あり</p> <p>受賞以降、山梨県、岡山県、新潟県及び大阪府の業者が組合員として加入した。</p>		
<p>3. 活動の進化 あり</p> <p>2015 年（平成 27 年）10 月から 2017 年（平成 29 年）3 月まで東京都の助成事業である「課題解決型雇用環境整備事業」に選定され、雇用環境改善等の事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職場環境改善事業 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 組合員従業員を対象に職場満足度調査を実施した。 ➢ 調査結果を参考に特定社会保険労務士による雇用環境改善セミナーを実施した。 ● 従業員の安全啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 危険予知活動（KY 活動）のためのテキストを作成（収集運搬編、施設作業編）し、講習会を開催した。 ● 若年者の採用強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 建設廃棄物処理業界のプロモーションビデオ等を作成し、組合ホームページのリクルート専用ページ（新設）にて公開した。 ● 業務基礎知識習得支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 廃棄物処理法や委託契約等の専門知識習得のためビデオ講座を作成し、組合員に公開した。 		
<p>4. 今後の計画</p> <p>現在活動中のふるい下残渣のリサイクルや建設汚泥の問題については今後も継続していくが、今後はドライバー等の人材確保の問題や収集運搬業務の協業化などを検討していく。</p>		

【表彰概要】

項目	概要
受賞者名	関東建設廃棄物協同組合
所在地	東京都中央区
開始時期	1991年6月
活動の区分	リサイクル
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・7回にわたる建設混合廃棄物の組成分析調査等を通じ、建設業界と連携してリサイクルの推進策を立案した。（「分別排出の手引き」「小口巡回回収システムの導入マニュアル」の発刊等） ・単独の会社では困難なメーカー等との協力体制の構築により、再資源化が遅れている品目・市の小さな品目についても研究開発を実施。（石膏ボード、廃プラスチック等） ・組合員同士での中間処理施設見学会等を通じ、業界全体としての問題点の共有化、改善に努めている。 ・平成8年度に建設大臣賞を受賞しているが、その後も先導的な施策に積極的に取り組んでいる。 ・廃石膏ボードの再利用に消極的であった石膏メーカーに対し建設業界と協同で折衝し決められた品質を確保することを条件に合意に至ったこと、セメントメーカーとも同種の協議を重ね「木屑」「廃プラスチック」「石膏ボード」等を原材料・原燃料として利用するルートの開発に成功したことなど、リサイクル先、用途開発を図るため大手メーカーと協同で取り組んでいる。 ・組合と組合員が一体となってリサイクルに取組み新しいリサイクル先の確保とリサイクル量の拡大に努めている。 ・廃プラ類をサーマルリサイクルする大型施設を有する「カムテック」（福山）の開発に成功するなど、協同で取組むことにより単一企業では困難なリサイクル先との提携が可能となり、輸送効率、省エネルギーに結びついている。 ・当組合は、単なる減量化ではなく、「リサイクル」を重視した取組みをこれまで実施しており、建設廃棄物の最終処分量の3割を占めている建設混合廃棄物に対して、組合と加盟会社ならびに建築業協会等の各団体との連携を図りながら、分別の徹底と再資源化の推進を主導的立場に立って積極的に取り組んでいる。